

新任者支援手順書

～A-PLAT 等を活用してまずはココから始めよう～

＜はじめに＞

日本列島は東西南北に細長く、国内各地域で気象条件が異なるため、気候変動に伴う気象の変化の現れ方は地域により異なります。また、歴史や文化が異なり、経済社会の状況も大きく異なることから、気候変動が経済社会に与える影響も一様ではありません。例えば、農林水産物は各地域にて栽培されるため、受ける影響も地域ごとに異なります。こうした農林水産物は地域の「名産品」であることも多く、名産品へのダメージが地域の観光産業へも波及し、地域の経済に大きな影響を及ぼすことも考えられます。

このように、地域によって気候変動の影響も異なるため、地域ごとの実情や特色を踏まえ、それぞれの自治体の政策の優先度に応じて、地域に最も適した形で気候変動適応策（以下、「適応策」という。）を実施していくことが必要です。さらには、適応策を契機に、農林水産分野など環境以外の政策とも適切に連携して、地域の課題解決や地域の強みの活用につなげていく視点（＝地方創生の視点）も重要になります。

本手順書は、地域の気候変動適応を推進する担当者に対して、はじめの一歩となる情報を整理してまとめたものです。業務を進める上で参考にしてください。

＜本手順書の目的＞

本手順書は、地方公共団体の気候変動適応関連部局及び地域気候変動適応センター（以下、「LCCAC」という。）に新たに着任される方の気候変動の影響や適応、関連業務等についての理解を支援することを目的としています。

＜本手順書の使い方＞

本手順書は、気候変動適応法の施行通知「3. 地域気候変動適応センターの確保における<活動内容>」に記載される7項目を参考に以下の6項目に整理し、皆さんのが取り組む業務内容を紹介しています。

1. 施策の推進
2. 気候変動・適応に関する科学的知見
3. 普及啓発
4. ステークホルダーとの連携
5. 知識・スキルの習得
6. その他支援

※この分類は、後述する気候変動適応情報プラットフォーム掲載の、「自治体・地域気候変動適応センターの方向けページ」の6項目に合わせています。

●表記について

-  **まずはココから** → 新任者が、まず初めに学ぶとよい情報です。
-  **もっと詳しく** → さらに詳しく知りたい時に参照できる資料やデータ等のご紹介です。

●その他

- ・下線が引かれているリンク部分をクリックすれば当該サイトを開くことができます。
- ・本手順書は、自らの部局やセンターの状況にあわせて編集することができます。編集して新任者への引継ぎ資料にする等ご自由にご活用ください。

PART I : 本手順書を読み進める前に…ウォーミングアップ！

皆さまの活動を支援します！

●国立環境研究所 気候変動適応センター（以下、「適応センター」という。）

適応センターは、気候変動の影響や適応に関する研究を行うとともに、次項の気候変動適応情報プラットフォームを活用した情報提供や講師派遣など、地方公共団体やLCCACの活動を支援しています。

また、当センターには地域ごとに担当者が在籍し、皆様の様々なご相談に対応しています。まずは、地域の担当者を確認しておきましょう。

※当センターへのお問合せ、地域の担当者の紹介は最終ページに記載しています。

●気候変動適応情報プラットフォーム（以下、「A-PLAT」という。）

A-PLATとは、適応センターが運営する情報基盤で、気候変動適応に係る最新の観測・予測データや科学的知見、取組事例などをわかりやすく提供する情報サイトです。

サイトのURLをお気に入り登録しておきましょう。

●地域気候変動適応センター業務ガイドブック（以下、「業務ガイドブック」という。）

業務ガイドブックは、LCCACの中長期的なあり方や、将来像を見据えた役割や機能、方向性等を整理し、各地域での気候変動適応の実践に向けてLCCACの役割等を検討する礎になることを目的としています。LCCACが取り組んでいる活動事例も広く紹介しています。下表に、本手順書の項目と業務ガイドブックの分類の対応を表示します。

No.	手順書及びA-PLATの分類	業務ガイドブック上の機能分類
	全般（1～6）	(1) 情報収集・提供（情報基盤整備）
1	施策の推進	(5) 施策支援
2	気候変動・適応に関する科学的知見	(3) 分析・調査・研究
3	普及啓発	(2) 普及啓発、環境学習・環境教育
4	ステークホルダーとの連携	(4) ステークホルダー連携
5	知識・スキルの習得	(2) 普及啓発、環境学習・環境教育
6	特設サイト・その他支援メニュー	

●初めに、気候変動と適応の全体像を把握しましょう。

⇒ [気候変動と適応](#) (『わかりやすく』のタブ)

[A-PLAT KIDS](#)

●用語の意味や関連する内容の科学的な解説、より詳しい気候変動に関する情報を知りたい時はこちらが参考になります。

⇒ [気候変動適応用語集](#)

[ココが知りたい地球温暖化 気候変動適応編](#)

[気候変動と適応](#) (『より詳しく』のタブ)

●業務上よく関わる関係部局の担当者や、よく連絡する研究者・専門家などについて、名前や連絡先を確認しておきましょう。

●業務のコツや難しい業務等についても、できる限り前任者に聞いておきましょう。

PART II : 基礎知識を理解したら…さあ、本番です！

地域の適応を進める上で参考になる情報やツールを、6項目に分類して紹介します。

1. 施策の推進

国や地方公共団体の取り組みや施策支援のための情報を入手したいときに参照してください。

(1) 国の施策について知りましょう

 まずはココから

●法律

気候変動の影響による被害を回避・軽減する気候変動の適応に関する法。

⇒ [気候変動適応法](#)

●気候変動影響評価報告書

気候変動影響の概要に加えて、気温や降水量などの観測結果と将来予測、影響の評価に関する今後の課題や現在の政府の取り組みをまとめています。

⇒ [気候変動影響評価](#)

●気候変動適応計画

気候変動適応法に基づき、気候変動適応に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定された国の計画。

⇒ [気候変動適応計画](#)

□ もっと詳しく

地域ごとに気候変動の影響予測や適応に関する取り組みが行われています。全国7地域に設置されている気候変動適応広域協議会（事務局：環境省地方環境事務所）による、「気候変動適応における広域アクションプラン」や「国民参加による気候変動情報収集・分析事業（国民参加型事業）」における地域の事例を確認することができます。

- ⇒ [気候変動適応広域協議会](#)
- ⇒ [気候変動適応における広域アクションプラン](#)（令和2～4年度）
- ⇒ [地域適応コンソーシアム事業](#)（平成29年度～令和元年度）
- ⇒ [国民参加による気候変動情報収集・分析事業](#)（令和元年～6年度）

（2）地域気候変動適応計画について確認しましょう

■ まずはココから

多くの自治体で地域気候変動適応計画が策定され、公表されています。貴自治体の地域気候変動適応計画策定の有無と、策定されている場合はその内容を確認しましょう。

また、近隣自治体の策定状況についても確認してみましょう。

- ⇒ [地域気候変動適応計画一覧](#)

□ もっと詳しく

地域気候変動適応計画が未策定もしくは改定を予定している場合は、以下のマニュアルやツールを確認しながら計画策定・改定に向けた準備を進めましょう。

● [地域気候変動適応計画策定マニュアル](#)

地域気候変動適応計画を策定・変更する標準的な手順や参考となる情報・考え方等を示しています。

- ・「手順編」：地域適応計画策定の作業手順をまとめたもの。
- ・「導入編」：「手順編」から基本的な策定方法を抜粋し、解説を加えたもの。基礎自治体の方はこちらから読み始めましょう。
- ・「ひな形編」：「手順編」や「導入編」に沿って収集した情報から地域適応計画の素案を作成するためのもの。
- ・「資料集」、「情報整理シート」、「庁内コミュニケーションシート」、「適応オプション一覧」：計画策定・改定に役立つ資料が整備されていますので、適宜ご活用ください。

● [地域気候変動適応計画作成支援ツール](#)

ツールを実行することで、各自治体に合わせたデータ（気候に関する情報、気候変動影響予測データや、人口等の統計情報など）を上記計画策定マニュアル「ひな形編」のWordファイルに自動出力します。適応策検討の前段となる情報収集の省力化に役立ちます。

（3）地域の適応策事例について確認しましょう

特に、気候変動に備える住民の安全・安心な生活の確保を検討することや、地域の「名産品」に対する影響の確認を行うことが重要です。地域で必要とされるまたは実施可能な適応策を検討するに当

たっては、他の地域で実施されている適応策事例等を確認することが大切です。以下の資料が参考になります。

① 適応策の事例	国内外の適応策事例集
② 地域の適応策についてのインタビュー情報	取り組み事例インタビュー（適応策）
③ イラストを使って可視化した分野別適応策	インフォグラフィック
④ 熱中症に関する様々な情報を集約	熱中症関連情報
⑤ ネイチャー・ポジティブと気候変動適応との関係、具体的な対策等に関する情報	ネイチャー・ポジティブと気候変動適応

●熱中症関連情報

気候変動適応の一分野である熱中症対策を強化するため、気候変動適応法が改正され、（令和5年6月1日（一部）、令和6年4月1日全面施行）熱中症に関する対策を強化するとともに、特別警戒情報の発表期間中における暑熱から避難するための施設の開放措置など、熱中症予防を強化するための仕組みを創設する等の措置を講じることとなりました。A-PLATでは、暑熱健康に関する研究動向等、熱中症に関する様々な情報を集約して掲載しています。

⇒ [熱中症関連情報](#)

2.気候変動・適応に関する科学的知見

気候変動やその影響、適応に関する科学的知見の収集・整理、分析、調査研究、提供を行いたいときに参考してください。

(1)科学的知見の収集・整理

■ まずはココから

「これまで（過去～現在）」と「将来予測」の2つの視点で理解することが大切です。

●気象・気候

①これまで（過去～現在）

「気象観測データ（気象庁提供）」のページで都道府県ごとの100年以上の気象観測データ（平均気温降水量、真夏日、猛暑日）のグラフを掲載しています。地域の気候変動について確認してみましょう。

⇒ [これまでの気温・降水量の変化（気象庁提供グラフ画像）](#)

⇒ [気象観測データ閲覧ツール](#)

②将来予測

気象庁「[日本の各地域における気候の変化](#)」において、都道府県別の将来の気候の変化が示されています。

●各分野の気候変動影響予測・評価

①これまで（過去～現在）

⇒ ご自身の地域気候変動適応計画に記載がありますので、そこで全体を把握しましょう

⇒ 各分野より詳しく知りたい場合は、前述の気候変動影響評価報告書を確認しましょう。

②将来予測

⇒ ご自身の地域気候変動適応計画に記載がありますので、そこで全体を把握しましょう

⇒ 各分野より詳しく知りたい場合は、前述の気候変動影響評価報告書を確認しましょう。将来予測は多くの成果があるため、迷ったときは適応センターに相談してください。

⇒ 研究成果の事例として、「将来予測、影響評価に関する研究成果（WebGIS）」のページでは、これらを地図上で表示することができ、条件設定を細かく変えることも可能です。

⇒ [気候変動の将来予測 WebGIS](#)

■ もっと詳しく

ご自身で分析、調査研究、提供をされたい場合は、以下をご参照ください。迷ったときは適応センターにご相談ください。

●分析

「気候変動適応に係る情報作成の手引き～情報収集・整理・分析のための情報デザイン～」をA-PLATlab ポータルサイト（<https://aplatlab.nies.go.jp/caseStudy/index.html>、関係者限り）で提供しています。

●調査研究

適応センターでは、「気候変動適応に関する地域気候変動適応センター等との共同研究」（共同研究適応型）を実施しています。ご関心のあるテーマ等ありましたらお問合せください。すでに30以上のLCCACが共同研究に参加されています。

⇒ [気候変動適応に関する地域気候変動適応センター等との共同研究](#)

●発信

発信の一例として、情報収集・状況認識・情報共有・情報発信の4つについてWebGISの活用を想定した手順書等を提供しています。活用事例をご参照ください。

⇒ [WebGISによるデータ収集・共有・発信](#)

3.普及啓発・動画・イベント事例、ツール

住民や事業者等に対して、普及啓発を行いたいとき等ご利用ください。

■ まずはココから

●関連情報の発信にあたっては、まずは、適応センターが作成した各種パンフレットを印刷して配布することや、自らの組織の紹介用パンフレットを作ること、ホームページを立ち上げて関連情報を発信することが考えられます。A-PLATでは以下の関連ツールを掲載しています。

① 適応に関するパンフレット	パンフレット・普及啓発ツール
② 組織紹介用パンフレットの作成	組織紹介用パンフレットの雛形
③ ホームページの立ち上げ	ウェブサイト開設ツール

□ もっと詳しく

- 情報発信の方法としては、セミナー、イベント、出前事業といった、受け手に合わせた取り組みが考えられます。A-PLATには、イベント等で説明する際に活用できるスライドの雛形や学生向け環境学習教材やツールを掲載しています。気候変動の影響や適応策に関連した写真やイラスト素材もダウンロードが可能です。

① セミナー、イベント等での説明用に利用可能なスライド	プレゼンテーション資料（ガイドブック、スライド集）の提供
② 学生向け環境学習素材・ツール	環境学習・自由研究素材一覧
③ 写真素材（気候変動の影響や適応策関連）	写真素材データベース
④ イラスト素材（気候変動の影響や適応策関連）	イラスト・素材を探す
⑤ 講演・セミナー・イベント・授業等で使えるコンテンツ	普及啓発・コミュニケーション

4.ステークホルダーとの連携（事業者・市民等）

事業者や市民等との連携・協働を進めたいとき等にご利用ください。

□ まずはココから

組織紹介用パンフレットやホームページを作り、相談用の連絡窓口を掲載、相談を受ける準備をしましょう。

□ もっと詳しく

- セミナー等のイベントや出前授業の際は、相手にパンフレットやホームページの存在を知らせ、相談を受付けていることを伝えましょう。
- 県内の事業者へ向けた事例発信、アンケート調査結果等を掲載しています。

⇒ [自治体による事業者支援](#)

5.知識・スキルの習得

さらに知識を深めたいとき、情報を得たいとき等にご利用ください。

●これまでに開催した自治体やLCCAC向けの気候変動適応研修について、開催概要や資料を掲載しています。

⇒ [主催のシンポジウム・研修等](#)

●地域で適応に取り組むにあたっては、まずは他の地域での取組事例を知り、イメージを掴むことが有効です。適応センターでは、自治体やLCCAC同士のネットワーク構築のために、LCCAC定例会議（2か月に1回／オンライン）、LCCAC意見交換会（毎年1回／対面）、テーマに沿った内容を議論するLCCAC勉強会（不定期／オンライン）等を実施しています。これらの情報を活用することが、ネットワークの構築に繋がります。積極的にご参加ください。

⇒ [センター間の情報共有](#)

※定例会等については、別途メールにて案内いたします。

●気候変動適応に関連する旬のトピックや時事的な話題等の情報共有を目的とした、どなたでも参加できるセミナーを不定期で開催しています。

⇒ [気候変動適応セミナー](#)

●気候変動を学ぶツールや動画等を掲載しています。用途に合わせてご活用ください。

⇒ [気候変動適応 e-ラーニング](#)

⇒ [気候変動関連動画](#)

6. 特設サイト・その他支援メニュー

●暑熱健康に関する研究動向等、熱中症に関連する様々な情報を集約して掲載しています。

⇒ [熱中症関連情報](#)

●各地域で行われる適応に関連するイベント情報を掲載しています。皆様からも情報をお寄せいただけましたら掲載いたします。

⇒ [イベント一覧](#)

●講師派遣・委員派遣

適応センターでは、地方公共団体等が主催する講演会や勉強会等への講師派遣や紹介、検討会や委員会など有識者会議への委員派遣を行っています。

⇒ [講演会等への講師派遣事例](#)

⇒ [検討会等への委員派遣事例](#)

●研究費・補助金等

地域で適応に取り組むにあたっては、活動費や研究費が必要となる事もあります。適応センターは推進費等の研究費申請のご相談も承ります。

- ⇒ (よくあるご質問) 地域で気候変動影響や適応についての研究を行いたいのですが、どのようにしたらいいでしょうか。使える資金はありますか。
- ⇒ 気候変動や適応に関連する補助金等の情報

<最後に>

A-PLAT には本手順書に掲載しきれなかった、より広範な情報や詳細な情報が掲載されていますので、ぜひご活用ください。また、ご不明な点などはお気軽にお問合せください。

以上